

2019年7月 教会行事予定表

曜	午前	午後
1月	こっとな倶楽部 10:00	
2火		
3水	OPC10:00	小学生英語クラス15:30
4木		入門講座 18:00
5金		
6土	ミサ10:00 掃除(太平洋)	壮年大会
7日	ミサ9:30 運営委員会	
8月		
9火	恵愛歌のボランティア10:00	
10水	OPC10:00	小学生英語クラス15:30
11木		入門講座 18:00
12金		
13土	ミサ10:00 掃除(太平洋)	中学英語クラス13:30
14日	集会祭儀9:30 壮年部女性部例会	
15月		
16火		
17水	OPC10:00	小学生英語クラス15:30
18木		入門講座 18:00
19金	セシリアコーラス9:30	
20土	ミサ10:00	中学英語クラス13:30
21日	ミサ9:30 ミニ大掃除の日	夏期学校最終打ち合わせ14:00
22月	海星学院 ミサ	
23火	恵愛歌のボランティア10:00 海星学院ミサ	
24水	OPC10:00	
25木		入門講座 18:00
26金	夏期学校	
27土	ミサ10:00 掃除(太平洋) 夏期学校	中学英語クラス13:30
28日	集会祭儀9:30 夏期学校	
29月		
30火		
31水	OPC10:00	



2019  
6/9

# ひとつになるう

2019年6月9日 カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

〒050-0073  
室蘭市宮の森町4-9-  
☎0143-44-3851

## 第53回 「世界広報の日」 教皇メッセージ

「わたしたちは、互いからだの一部なのです」(エフェソ4・25)  
「ソーシャル・ネットワーク・コミュニティから人間共同体へ」

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

インターネットが用いられるようになった当初から、教会はつねに、人と人との出会いと、あらゆる人の間の連帯のために役立つその活用を促進してきました。このメッセージを通してわたしが皆さんに再度お願いしたいことは、わたしたちが互いにかかわり合う存在であることの根拠と重要性についてよく考え、現代のコミュニケーションが広範な問題を抱える中で、孤独でいたくないという人間の思いに、改めて目を向けることです。「ネットワーク」と「共同体」の隠喩

今日のメディア環境は、日常生活の領域と区別できないほど広がっています。ネットワークは現代の資源です。それは、過去には考えも及ばなかった、知識とかかわり合いの源です。しかし多くの専門家が明らかにしているように、コンテンツの作成、流布、活用のプロセスにテクノロジーがもたらした著しい変化には、世界規模での正確な情報の検索や共有を脅かすリスクも伴います。インターネットが知識にアクセスする途方もない可能性を示すのであれば、それが、信頼喪失を頻繁に招くことになる、事実や人間関係に関する偽情報や、ある目的に基づく意図的な曲解にもっともさらされる場の一つであることも確かです。

ソーシャル・ネットワークは、一方ではわたしたちがより密接に結びつき、互いを認め、助け合うために役立っていますが、他方では、政治的、経済的な利益のために、個人とその権利を尊重しない個人情報の不正操作に利用されていることも認識すべきです。統計によると若者の四人に一人がネット上のいじめに巻き込まれています(1)。

こうした複雑な状況の中で、インターネットの肯定的な可能性を再発見するためには、当初その根底にあった、ネット(網)というものの隠喩についての考察へと立ち戻ることが有益でしょう。ネットのイメージは、中心も階層的構造も縦型組織もなくとも安定している、多数の線と交点を思い起こさせます。ネットワークは、すべての構成要素が共にかかわることによって機能します。

人類学的な観点に立ち戻ると、ネットワークの隠喩は、共同体というもう一つの重要なイメージを思い起こさせます。共同体は、団結して連帯するほど、また信頼によって生き生きとし、共通の目的を追い求めるほど、いっそう強められます。連帯のネットワークとしての共同体は、責任をもって発言することに基づく相互の傾聴と対話を必要とします。

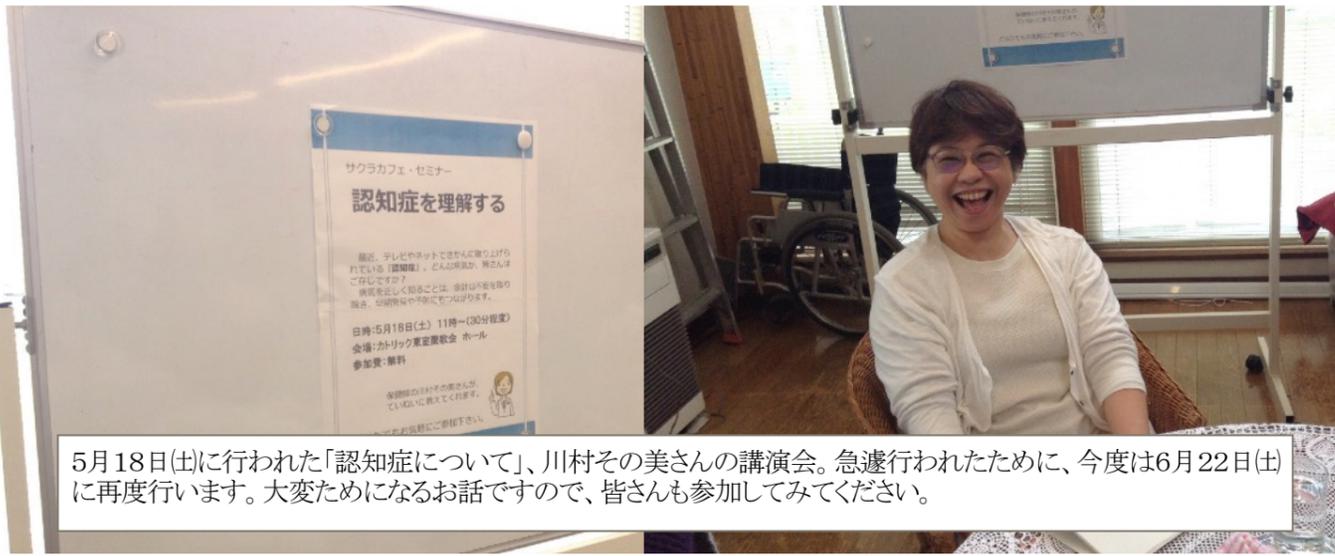
だれの目にも明らかのように、現状においては、ソーシャル・ネットワーク・コミュニティは必ずしも共同体と同義ではありません。このコミュニティは、最良の状態にあるならば団結と連帯のあかしとなりますが、大抵は、同じ関心や話題という弱いきずなによって認識し合う、個人の集合体にすぎません。しかも、ソーシャルウェブ上のアイデンティティは、ほとんどの場合、他者や部外者との対比に基づいています。つまり、結びつけることではなく、分け隔てることによって自己を定義しており、それにより疑いを生じさせ、あらゆる種類の偏見(民族、性、宗教などによる)を噴出させているのです。こうした傾向により、異質な存在を排除するグループが勢力を増し、歯止めの利かない個人主義がデジタル環境内にも広がり、憎しみの連鎖に至ることさえあります。このように、世界への窓(ウィンドウ)となるべきものが、自己陶醉を誇示するショーウィンドウになっています。

ネットワークは他者との出会いを促す機会となりますが、わなにはめる蜘蛛の巣のように、わたしたちをさらに孤立させることもあります。若者は、ソーシャルウェブが自分の対人関係を完全に満たしてくれるという錯覚にとりわけ陥りやすく、彼らが、社会から完全に引き離される危険のある「ひきこもり」になるという深刻な事態まで起きています。こうした劇的な動向は、かかわり合いから成る社会構造に深刻な断絶、無視できない亀裂があることを物語っています。

この油断をならない多面的な現実とは、倫理、社会、司法、政治、経済の在り方にさまざまな問題を投げかけ、教会にも課題を突きつけています。各国政府は、自由で、開かれていて、安全であるという、ネットワークの本来の姿を維持するための法的規制を模索していますが、わたしたち皆が、その有益な活用を推進する役割と責任を担っているのです。

相互理解を深めるには、接続回数を増やすだけでは不十分であることは明らかです。それでは、オンラインのネットワーク上でも互いに担うべき責任への自覚に基づく、共同体の一員としての真のアイデンティティを見いだすには、どうしたらよいのでしょうか。

「わたしたちは互いからだの一部なのです」  
その答えは、からだとその部分という第三の隠喩から引き出すことができます。それは、聖パウロが人間の互



5月18日(土)に行われた「認知症について」、川村その美さんの講演会。急遽行われたために、今度は6月22日(土)に再度行います。大変ためになるお話ですので、皆さんも参加してみてください。

恵関係を表現するために用いたことばであり、各部分が一つとなって有機体を形作っていることに基づいています。「だから、偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。わたしたちは、互いにかからだの一部なのです」(エフェソ4・25)。互いにかからだの一部であることは深遠な動機であり、使徒パウロはその動機のもとに嘘を退け、真理を語るよう呼びかけています。真理を守る責務は、交わりの相互関係を否定しないという要求から生じます。真理はまさに、交わりにおいて明らかにされます。それに引きかえ嘘は、自分が一つのからだの一部であることを、利己的に拒絶することです。自分自身を他者に差し出すことを拒むことにより、自分自身を見いだす唯一の道を見失っているのです。

からだとその部分の隠喩は、交わりと他者性に根差す自らのアイデンティティについて省察するよう導きます。キリスト者としてわたしたちは皆、自分がキリストを頭とするからだの一部であることを自覚しています。それによってわたしたちは、競争相手になりうる存在として他者をとらえるのではなく、敵であっても人として考えられるようになります。自分自身のことを明らかにするのに、敵はもはや必要ありません。すべてを包み込むまなざしをキリストから学んだわたしたちは、かかわりを持ち、親しくなるために欠かせないもの、その条件として、他者性を新たな視点でとらえることができるからです。

人々の間で理解し合い、コミュニケーションをとるこの能力は、神のペルソナの愛の交わりに根ざしています。神は独りでおられるかたではなく、交わるかたです。神は愛です。ですからコミュニケーションが成り立ちます。愛とは絶えず伝えるものですから、神は人と出会うために、ご自分を伝えてくださいます。わたしたちと話を交わし、わたしたちに伝えるために、神は人間のことばにご自身を当てはめ、歴史を通して人類と比類のない真の対話をしておられるのです(第二バチカン公会議公文書『神の啓示に関する教義憲章』2参照)。

交わりであり、ご自身を伝えるかたである神の像と似姿として造られているからこそ、わたしたちは交わりながら生きたい、共同体に属したいという願いをつねに心に抱きます。聖バジリオが言うように、「互いに交わりを結び、相互に依存し合うことほどに、わたしたちの自然本性に固有なことはないから」(2)です。

この現状にあってわたしたちは、関係を築くために尽力し、互いにかかわり合うという人間の本質を、ネット上においても、ネットを通じても確認しなければなりません。とりわけわたしたちキリスト者は、信者としてのアイデンティティに刻まれている交わりをはっきり示す

よう求められています。まさに信仰それ自体がかかわり合いであり、出会いです。わたしたちは神の愛に後押しされて、他者というたまものとかかわり、その人を受け入れ、理解し、こたえることができるのです。

三位一体の交わりはまさに、個とペルソナとの違いを明らかにしています。三位一体の神を信じているからこそ、わたし自身であるためには他者が必要となるのです。他者とかかわり合っ初めて、わたしは真の人間、真のペルソナとなります。ペルソナということばはまさに、他者のほうを向き、他者とかかわる「顔」として、人間を表しています。わたしたちのいのちは、その性質が個的なものからペルソナ的なものへと移行することにより、人間性において成長します。人間性を深める真の道のりは、他者を競争相手とみなす個的存在から、旅の同伴者とみなすペルソナ的存在へと向かうものです。

「いいね！」から「アーメン」へ  
ソーシャルウェブの活用は、相手の肉体、心、目、視線、息を通してなされる生身の本人との出会いを補完するものであることを、からだとその部分のたとえは思い起こさせてくれます。そうした出会いの伸展と期待のために用いられるなら、ネットは本来の姿を失わずに、交わりに資するものであり続けます。家族が互いの結びつきを強め、食卓を囲んで見つめ合うために用いられるならば、ネットは一つの資源です。教会共同体がともに感謝の祭儀をささげるために、ネットを通してその活動を調整し合うのであれば、それは一つの資源です。自分から物理的に離れたところで起きた、素晴らしい、もしくは苦しい出来事や体験に近づく機会となるなら、また、ともに祈り、自分たちを結びつけるものを再発見することとともに善を見いだす機会となるなら、ネットは一つの資源です。

ですからわたしたちは、診断から治療へと移行することができます。対話、出会い、笑顔、触れ合い……、そうしたことへの道を開く、これこそが、わたしたちが求めるネットワークです。わなにかけるためではなく、解放するため、自由な人々の交わりを守るためのネットワークです。教会そのものも、聖体の交わりによって織りなされるネットワークです。教会の一致は、「いいね！」にではなく、真実に、各自がキリストのかからだと一つになり他者を受け入れることを表す「アーメン」に基づいているのです。

バチカンより  
2019年1月24日  
聖フランシスコ・サレジオの記念日  
フランシスコ

## 2019年度第2回運営委員会 議事録

2019年6月2日(土)11:00~12:35

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

### 3. 報告

#### 3.1 6・7月の予定

6月 2日(日) 運営委員会 ミサ後	7月 7日(日) 運営委員会 ミサ後
6月 8日(土) 室蘭ブロック壮年大会 いずみ初日	7月14日(日) 壮年部、女性部例会
6月 9日(日) 壮年大会2日目、女性部例会	7月21日(日) 夏期学校最終打合せ(東室蘭教会14:00)
6月16日(日) 父の日祝福、合同パーティー	7月22日(月)~23日(火)海星学院(1, 2年生)
6月23日(日) ミニ大掃除	東室蘭教会でミサ
6月30日(日) 合同ミサ、ブロック会議(伊達)	7月26日(金)~28日(日)室蘭ブロック夏期学校

### 3.2 その他

※2019年度 第1回室蘭ブロック会議  
5月12日(日)13:00~15:00 室蘭教会  
\*札幌教区大会後の対応について  
\*信徒大会のテーマについて  
\*夏期学校について  
\*小教区特別積立金の相互利用について  
上記等について審議した。詳細議事録参照

※ 2019年度 第1回苦小牧地区連協議会  
5月19日(日)14:00~16:00 苦小牧教会  
・苦小牧地区としての互助会の仕組みについて  
・各小教区とも少子高齢化が進んでいるが、小教区の運営上の問題点、将来に向けての課題などについて話し合った。  
詳細議事録参照

※「さくらカフェ」初めてのケースとして、講話開催(認知症について)  
5/18(土)11:00~11:30 講師:川村 その美氏  
好評につき、何回か続ける。第2回目 6/22(土)11:00決定

### 3.3財務報告

現時点では、特に問題ない。

### 4. 議事:

#### 4.1スリランカ、コロンボのテロ被害への献金について

・当教会として支援決定

8/1(木)迄振込 カトリック中央協議会宛

#### 4.2 ホールの網戸及びブラインドの新替えについて

・引き戸タイプの網戸 ホール2箇所

・ブラインドは台所と事務所の2箇所新替え決定

#### 4.3 夏期学校の再確認について

担当責任者、食事の担当と内容、雨天時の対応等

5/12のブロック会議で決定

\*担当責任者: ・水泳(松山)・登山(松岡)・肝試し(千葉神学生、吉田)  
・作文(千葉神学生)・アニメ映画(岩泉)・工作かゲーム(木山)  
・総務(松岡)・会計(高科)

\*食事関係:一日目(夜、カレーライス、室蘭)二日目(朝、室蘭一任)、  
(昼、東室蘭 おにぎり 夜、東室蘭 成吉思汗)  
三日目(朝、室蘭一任)

\*その他:・寝袋持参の徹底 ・静内教会の子供達も参加

#### 4.4 信徒大会の事前対応、他について、

・先ず決定されている事項を明記した案内ハガキを作成して送付する

・堅信式の要否は、ブロック会議で決定(受聖者数確認)

・大会長、実行委員長が決定次第 海星学院に備品借用願、参加申込書を作成

又 ミサに伴う奉仕者依頼書を作成する 等

#### 4.5 これからの宣教活動の取り組みについて

信徒大会に於ける司教様の講話を聴いた後、話し合っ取り組み方を決めて対処する

#### 4.6 その他

・今年度のバザーの日程は、9/29(日)希望 しかし6/30のブロック会議で決定

・玄関前と駐車場のアスファルト舗装に関する見積依頼する

### 5. 司祭の予定

#### 5.1 ライヤ神父様の予定

6/25~27全道司祭会議(北広島)

#### 5.2ミサ・集会祭儀の予定

6/2 ライヤ師 6/9 集会 6/16 ライヤ師 6/23 集会 6/30 合同ミサ(伊達)

7/7 ライヤ師 7/14 集会 7/21 ライヤ師 7/28 集会



カトリック苦小牧地区

## 信徒大会

2019

勝谷太治司教

2019年10月18日

AM10:00

海星学院講堂